

【第1回】

シンポジウム

ライブ配信イベント
(東京国際フォーラムから中継)人権教育・人権啓発の
現状と未来

2020年 11月 7日(土)

13:00-17:00

国連が1995年に「人権教育のための国連10年」を開始して以降、世界各国で人権教育・人権啓発の取り組みが進められてきました。日本が「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を制定・施行してから今年で20年。各地の自治体はそれまでの人権行政を活かしながら、この間、どのように人権教育・人権啓発を展開してきたのでしょうか。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控えて、オリンピック憲章に謳われる人権尊重の理念実現が問われている東京で、人権教育・人権啓発の現状と課題を検証するとともに、これからの展望を探るためのシンポジウムを開催いたします。

事前登録制

(締め切り11月4日(水))

無 料

オンライン開催

(YouTubeライブ配信)

手話通訳あり

お申込み・
お問い合わせ 公益財団法人
東京都人権啓発センター (裏面参照)

主催：公益財団法人 東京都人権啓発センター

後援：東京都、東京法務局

第

1

部：基調講演



田中 優子

法政大学総長

「自由」を生き抜くために
若者が「人権」を学ぶということ

第

2

部：パネルディスカッション①「人権教育・人権啓発の現状と課題」

パネラー 山本 憲幸(東京法務局人権擁護部長)、大久保 哲也(東京都総務局理事(人権担当))、
阿久澤 麻理子(大阪市立大学教授)、建石 真公子(法政大学教授)

コーディネーター



坂元 茂樹

(公財)人権教育啓発推進センター理事長
同志社大学教授

パネルディスカッション②「各地の取り組みから」

パネラー なごや人権啓発センター、(公財)兵庫県人権啓発協会、(公財)東京都人権啓発センター

コーディネーター



友常 勉

(公財)東京都人権啓発センター理事
東京外国語大学教授